

いつもと違う雰囲気を楽しもう
るなばDE・ハロウィーンないと

大型遊具の夜間運行やダンスイベントなどを実施。仮装して、乗り物に乗車することもできます。カボチャのグッズを身につけた来園者には、遊具利用券1枚をプレゼントします。

日時=10月26日(土)18時~20時



夏季限定で行われる「るなば DE ohhh しごと」は、小学生以上の子どもたちを対象とした、るなばあくのスタッフの仕事体験できるイベント。乗り物券の回収やアナウンスの体験ができます。参加した子どもたちからは「緊張したけれど、楽しかった」という声が聞けました。この取り組みは、4年前から行われていてリピーターも多い人気の体験です。

同じく夏季限定で行われる「るなばDEない」とは大人も童心に帰って遊園地を楽しもう!というコンセプトで企画されたイベント。遊具がライトアップされ、昼間とは違う雰囲気の中でお酒が飲めるテラスや飲食ブースが設けられ、楽しい夜を過ごすことができます。



園長 原澤 宏治さん

ここにきたいと思ってもらえる場所に

るなばあくは遊園地の印象が強いと思いますが、誰でも来ることができる公園としてさまざまな取り組みをしています。園内でのキッチンカーの出店や来園者に地域のお店への来店を促すような取り組みで地域の活性化にも貢献したいと考えています。これはるなばあくを維持して次の世代につなげる改革でもあります。

このように園内でさまざまなイベントを行い新たな価値を生み出すことで、より来園者が楽しめ、また来たい!と思うきっかけになっているのではないのでしょうか。当たり前のように地域の顔として在り続けているるなばあくですが、存続が危ぶまれた時期もあったそうです。しかし、残してほしいという市民の声が多く寄せられ、今もなお地域に愛される場所であり続けています。

今、全国的に遊園地の存続は厳しい状況にある中で、るなばあくは昔から地元の人々に愛される大切な場所であり、地域の顔となっています。県外からの来園者が多くなつた今では、地域活性化の拠点としてその役割を担う重要な場所となつていくのではないのでしょうか。

そんなたくさんの可能性を秘めた遊園地、「るなばあく」にこれからも注目していきたいと思えます!

編集後記

子どもから大人まで楽しめるたくさんの魅力がありました。多くの人に訪れてほしいです。

将来に末永く残していくべき、大切な場所だと改めて実感しました。

思い出の場所が来園者の幅を広げていく姿をみんなにも見てもらいたいです。

懐かしさを残しつつ新たな取り組みを行うことが大切だと感じました。

ワカモノ記者 SNSも見てください!



Instagram



フェイスブック



市民が作る
市民編集
のページ
Vol.132

担当 安済茜 / 吉田綾野 / 千葉友理香 / 熊本奏来 園 公園管理事務所 ☎027-225-2116



るなばあくは、小さな子どもの遊園地デビューにぴったりの安くて親しみやすい遊園地として、テレビや新聞などさまざまなメディアで紹介され、注目を集めています。その効果もあり、地元の人だけでなく県外から足を運んで来る人も多いそうです。また、近年では、夏休みの子どもを対象とした職業体験や、夜の遊園地を楽しむイベント、ハロウィンイベントなど一年をとおしてさまざまな試みに挑戦し、来園者を楽しませています。

前橋の小さな遊園地
前橋るなばあく

るなばあくは前橋大空襲から9年後の昭和29年に「前橋市中央児童遊園」として開園。平成16年に公募によって愛称が「前橋るなばあく」となりました。幼い頃よく遊びに行ったという人も多いのではないのでしょうか。ワカモノ記者も懐かしい気持ちで取材をしました。

